

## 『募集概要』 地域食品加工施設活用モデル事業

事業名	地域食品加工施設活用モデル事業
目的	道内食品の高付加価値化を図るため、地域の食品加工施設(道総研 食品加工研究センター 試作実証施設を含む)を有効活用した食品開発のモデル事業を支援する。
支援対象	自治体・公設試験研究機関・農協・漁協などが運営する地域の食品加工施設を利用して、食品開発および商品化に取り組む事業者・グループ等。
支援対象事業	食品開発における試作に関する事業(既存商品の改善・改良も含む)。 試作品のマーケティング調査に関する事業。
採択予定件数	7件程度
補助金限度額	30万円(千円未満切捨て)
補助率	補助対象経費(消費税を除く)の2/3以内
期間	補助金交付決定日から令和3年2月末日まで
対象経費	事業実施に直接必要な費用とする。 (費目例)原材料費、消耗品購入費、通信運搬費、印刷製本費、設備使用料、旅費、外部専門家謝金、外注費、その他経費 なお、事業に直接必要な経費であっても、運営費などのランニングコスト、人件費、食費・接待費等の経費、土地・建物等の固定資産の購入に関わる経費は対象外とする。
応募方法	募集期間内に次の申請書等を、ノーステック財団地域連携支援部に郵送してください。 (様式1)「地域食品加工施設活用モデル事業」申込書 (様式2)実施計画書 (様式3)経費積算内訳 様式は財団ホームページ( <a href="http://www.noastec.jp/">http://www.noastec.jp/</a> )からダウンロードできます。
応募締切り	<b>令和2年4月23日(木) 必着</b>
選定方法	「実施計画書」の内容・実施体制・役割等について事前にヒアリングし、当財団の審査会において選定する。選考にあたっては、以下の選定基準を満たすものを優先して選定する。 【選定基準】 ①地域の食品加工施設の設備を利用して試作をおこなうこと。 ②1年程度で事業化が可能なもの。 ③産業クラスター形成につながるものが期待されるもの。 ④事業概要(技術面、市場性、販売面、採算性、資金面等)が整理されているもの。 ⑤次の3項目のいずれかに沿った内容の場合、選定時に加点する。 【気候変動への対応】不漁・原材料高騰に対応するための付加価値向上、生産・水揚げ増加に伴う新たな原材料への挑戦。 【人手不足への対応】製造作業の効率化、機械化、季節雇用の期間延長 【輸出・インバウンド対応】外国人来道者に対応するインバウンド向け商品開発
決定通知	令和2年5月末日までに通知する。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中間検査として11月頃に事業の進捗・経理状況などを訪問の上、確認させていただきます。</li> <li>■ 事業終了後、令和3年3月5日(金)までに「事業報告書」および決算・証拠書類を提出願います。</li> <li>■ 財団刊行物による事例紹介や、成果報告会等における取組み事例の発表に協力願います。</li> <li>■ 事業終了後5年間、活動状況や売上等について、電話等により確認を行います。</li> </ul>
応募・問合せ先	〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目 コラボほっかいどう ノーステック財団 地域連携支援部 水沼・川崎・杉山 TEL:011-708-6526、FAX:011-747-1911、E-mail:chiiki@noastec.jp

本事業は、ほくでん産業技術振興基金運用益により運営しています